

新しい職員を紹介します

新規採用・派遣により、今年度から日野町の新戦力となった5人を紹介します。(4月1日付の異動にかかわる機構図は、広報ひのおしらせ版4月5日号に紹介しています)



産業振興課 副主幹

うらべ しゅんいち
浦部 俊一

「この度、鳥取県土地改良事業団体連合会から派遣され、日野町役場で勤務することになりました。派遣元では、主に農業土木設計に従事していました。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくをお願いします」



教育課長(兼)指導主事

ごとう のぶあき
後藤 宣明

「この度、日野町教育委員会に勤務することになりました。以前、日野中学校に勤務していました。初めての行政職で不安な面が多いですが、日野町の教育の充実・発展のため頑張りたいと思います。よろしくをお願いします」



産業振興課 主事

えんどう あきひろ
遠藤 顕弘

「この度、日野町役場に採用になりました。日々学ぶことが多いと感じており、町民の皆さまに良いサービスが提供できることを目指していきたいです。一日一日を大切にしていきたいです。今後ともよろしくをお願いします」



健康福祉課 主事

こだに かな
小谷 花生

「4月から日野町役場に採用となり、健康福祉課で児童手当などを担当します。日野町は子育てがしやすい町だとたくさんの人に感じていただけるよう、日々努力したいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします」



企画政策課 主事

みやもと ひでたか
宮本 秀隆

「この度、日野町役場に採用になりました。まだ不慣れな点など多々あると思いますが、地域の皆さんの力になれるよう一生懸命がんばります。皆さん、よろしくをお願いします」

歌やダンスで元気に

黒坂でコミュニティ講演会が開かれる



ダンスを楽しむ参加者

地域住民の健康づくりを図ろうと、2月24日、町公民館を会場に黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の健康づくり講演会が開かれました。

今回は、鳥取県フォークダンス連盟理事で全老連老人健康づくり推進員の青山典代さんを講師に招き、「心も体もリフレッシュ！輝いて元気で長生きしよう」をテーマに、37人の参加者らは歌やダンスで汗を流しました。

青山さんは「心も体も元気でいるためには、1日1回は自分をほめ、1日10回は笑いましょう」と話しました。講演会では、フォークダンスも指導され、参加者は「何十年ぶりに踊りました」と喜んでいました。

また、同協議会は、公益財団法人コメリ緑育成財団（捧賢一理事長）から緑化活動の助成金を受けました。これは、緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした植栽・植樹などの緑化活動に助成するもので、同協議会は、毎年、町内の公共施設などにプランターを配る「花いっぱい運動」に使う予定です。



助成金を受け取る中原会長（右）

自慢の歌声を披露

東日本大震災復興チャリティー第3回ひの歌謡・演芸大会

東日本大震災からの早い復興を願い、震災復興チャリティー第3回ひの歌謡・演芸大会（ひの歌謡・演芸友の会主催）が、3月17日、町文化センターで開かれました。

地元、日野町をはじめ、県西部や県外から歌や踊りの愛好家らが出演し、自慢ののどや踊りを披露しました。また、地元で活躍する日翔会、舟場昭和会の皆さんが、演芸を披露し会場を沸かせました。プロさながらの迫力あるステージ



自慢の歌声で、熱いステージを披露する

ジを観ようと会場は多くの来場者で満席に。歌に合わせて手拍子を打ちながら歓声をあげました。そして、3月18日、同会代表の松村譲さんが役場を訪れ、集まった入場料の一部を義援金として寄付。総額5万円を東日本大震災被災地にと景山町長に手渡しました。

松村さんは「5年、10年と続けていくことが『絆』。頑張りたい」と抱負を語りました。



松村さん（左）が寄附金を手渡す

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）